

# 守屋木材宮城野寮

## 宮城産材をふんだんに使

### CLT利用した社員寮竣工

守屋木材(仙台市、守屋長光社長)は100%宮城県産材CLT(厚さ120mm)5層5層7プライ面燃えしろ、壁CLT(同168mm)5層7プライ面燃えしろ、壁CLT FSC材を利用した。建設場所は仙台市内で延べ床面積408・72平方m、建築面積254・40平方m。木造2階建てCLTパネル工法。1階は食堂や浴室などの共有スペースで、2階に居室18室。CLTを各部や床パネルに採用。構造的な検討を行い、パネル表面の木目の繊維方向に大きく片持ちさせ、2階のはね出しの床を計画している。

建物のCLT、梁などの木材はすべて宮城県産材で、約200枚



昨年12月19日に引き渡しが行われ、現在45人が生活を行っている

ライ両面燃えしろ、床CLT(同210mm)5層7プライ床燃えしろを使用。CLTの部材制作は西北プライウッド、サイプレス・スナダヤが、CLT部材加工は藤寿産業、仙台木材市場が行った。木製サッシ等にも宮城県産材を使用し、また一部、宮城県杉材のFSC材を利用。

設計・管理は盛総合設計、構造設計・監理は福山弘構造デザイン。施工体制は分離発注になっており、施工は奥羽木工所、木工事にキムラ建業、電気施工工事は守屋電気、機械設備工事は金華工業商會が行った。